

癌化学療法プロトコール

氏名: \_\_\_\_\_

ID: \_\_\_\_\_

体表面積: \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup> 体重: \_\_\_\_\_ kg

プロトコール名 **GC療法(ショートハイドレーション)**

対象疾患 尿路上皮癌

診療科 泌尿器科

施用者 \_\_\_\_\_

1 投与薬剤名、投与量、投与方法

投与薬剤名	投与量	投与可能量(mg)	溶解、希釈液	投与方法
<b>day1,8,15</b>				
① 生食	250mL			血管確保とフラッシュ用
② デキサート	6.6mg/2mL(2A)		生食100mL	30分かけて
③ ゲムシタビン	1000mg/m <sup>2</sup>		生食100mL	30分かけて
<b>day2</b>				
① イメンド	1セット(3日分)			CDDP投与1時間以上前に1日目を内服
② 硫酸Mg	8mL		ブドウ糖F500mL	60分かけて
③ ヴィーンF	500mL			血管確保とフラッシュ用
④ アロキシバク	0.75mg/50mL(1袋)		混注	15分かけて
④ デキサート	6.6mg/2mL(2A)			
⑤ マンニトール	300mL(1袋)			30分かけて
⑥ シスプラチン	70mg/m <sup>2</sup>		生食500mL	2時間かけて(総量500mL)
⑦ ヴィーンF	1000mL			2時間かけて

2 投与方法の図式

時間 (hour)	1	2	3	4	5
<b>1,8,15日目</b>					
① 生食	→				
② デキサート	→				
③ ゲムシタビン	→				
<b>2日目</b>					
① イメンド	↓				
② 硫酸Mg	→				
③ ヴィーンF				→	
④ アロキシなど	→				
⑤ マンニトール		→			
⑥ シスプラチン				→	
⑦ ヴィーンF					→

3 投与スケジュール

1クール28日間。GEMを1、8、15日目、CDDPを2日目に点滴する。

4 特記事項

飲水指示に対して十分な理解を有する。  
 ・ (シスプラチン投与終了後までに1L程度は経口補液を心がける)  
 ・ 心機能が保持されていること(例:心臓超音波検査にてEF60%以上など、1時間あたり500mLの補液に耐え得ると期待される場合)  
 腎機能が十分に維持されていること(例:血清クレアチニン値施設基準上限以下かつクレアチニンクリアランス値 $\geq$ 60mL/min:但し筋肉量の影響を受けるため、高齢者などでは正確性にかける場合があることを留意する。)